

水道事業ガイドラインに基づく業務指標について

【平成22年度～平成26年度】

目次

1 安心:すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給	2
2 安定:いつでもどこでも安定的に生活用水を確保	4
3 持続:いつまでも安心できる水を安定して供給	7
4 環境:環境保全への貢献	11
5 管理:水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理	12
6 国際:我が国の経験の海外移転による国際貢献	14

北広島市 水道部

1. 安心:すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

a) 水資源の保全

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
1001	水源利用率	%	62.3	63.5	63.2	63.5	65.1	確保している水源水量に対する1日平均配水量の割合を示す。数値は高いほうがよい。	
1002	水源余裕率 <small>$[(\text{確保している水源水量} / \text{1日最大配水量}) - 1] \times 100$</small>	%	35.5	34.7	31.4	31.4	29.0	一日最大配水量に対して確保している水源がどの程度の余裕があるかを示す。	
1003	原水有効利用率 <small>$(\text{年間有効水量} / \text{年間取水量}) \times 100$</small>	%	-	-	-	-	-	年間取水量に対する有効に使われた水量の割合を示す。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
1004	自己保有水源率 <small>$(\text{自己保有水源水量} / \text{全水源水量}) \times 100$</small>	%	-	-	-	-	-	自己が保有する水源の割合を示す。	"
1005	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額 <small>水源保全に投資した費用 / その流域からの取水量</small>	円 / m ³	-	-	-	-	-	取水1m ³ 当りの水源保有に投資した費用。	"

b) 水源から給水栓までの水質管理

番号	指 標 名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指 標 の 解 説	備 考
1101	原水水質監視度 原水水質監視項目数	項目	-	-	-	-	-	年間に行う取水前の水道原水水質監視項目数を示す。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
1102	水質検査箇所密度 (水質検査採水箇所数/給水区域面積)×100	箇所/100km ²	17.6	21.6	25.7	25.6	19.1	給水区域内で100km ² 当り毎日検査している箇所数を示す。	
1103	連続自動水質監視度 (連続自動水質監視装置設置数/1日平均配水量)×1,000	台・日/1,000m ³	0.000	0.000	0.000	0.000	0.192	配水量1,000m ³ 当りの連続自動水質監視度を示す。長距離送水に有効な指標。	
1104	水質基準不適合率 (水質基準不適合回数/全検査回数)×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	水質基準不適合の割合を示す。この指標値は0%であるべきである。	
1105	カビ臭から見たおいしい水達成率 [(1-ジェオシミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-メチルイソボルネオール最大濃度/水質基準値)]/2×100	%	90	90	90	90	90	カビ臭原因物質が水質基準値に対して検出された濃度の比率。水道水のおいしさを示す指標。	
1106	塩素臭から見たおいしい水達成率 [1-(年間残留塩素最大濃度-残留塩素水質管理目標値)/残留塩素水質管理目標値]×100	%	75	50	100	75	75	残留塩素による水道水のおいしさを示す。おいしい水の要件は残留塩素濃度は0.4mg/L以下である。	
1107	総トリハロメタン濃度水質基準比 (総トリハロメタン最大濃度/総トリハロメタン濃度水質基準値)×100	%	17	11	22	17	14	給水栓で測定された総トリハロメタンの水質基準値に対する濃度の比率。数値は低いほうがよい。	
1108	有機物(TOC)濃度水質基準比 (有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	%	23	20	23	33	27	給水栓で測定された有機物の水質基準値に対する濃度の比率。数値は低いほうがよい。	
1109	農薬濃度水質管理目標比 $\sum (x_i/X_i)/n \times 100$	%	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし	農薬の水質基準値に対する濃度の比率。数値は低いほうがよい。	
1110	重金属濃度水質基準比 $\sum (x_i/X_i)/6 \times 100$	%	10	10	10	9	10	重金属の水質基準値に対する濃度。数値は低いほうがよい。	
1111	無機物質濃度水質基準比 $\sum (x_i/X_i)/6 \times 100$	%	5	5	5	7	6	無機物質の水質基準値に対する濃度。ミネラル分の割合。	
1112	有機物質濃度水質基準比 $\sum (x_i/X_i)/4 \times 100$	%	13	13	16	16	16	有機物質の水質基準値に対する濃度。数値は低いほうがよい。	
1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比 $\sum (x_i/X_i)/9 \times 100$	%	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし	有機塩素化合物の水質基準値に対する濃度。数値は低いほうがよい。	
1114	消毒副生成物濃度水質基準比 $\sum (x_i/X_i)/5 \times 100$	%	10	10	10	11	11	消毒副生成物の水質基準値に対する濃度。数値は低いほうがよい。	
1115	直結給水率 (直結給水件数/給水件数)×100	%	99.2	99.3	99.3	99.8	99.0	受水槽を経由せず、直接給水される件数の割合。	
1116	活性炭投入率 (年間活性炭投入日数/年間日数)×100	%	-	-	-	-	-	浄水処理のために粉末活性炭を投入した日数の割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
1117	鉛製給水管率 (鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	鉛製給水管を使用している割合。使用されていないことが原則。	

2. 安定:いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a) 連続した水道水の供給

番号	指 標 名	単 位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指 標 の 解 説	備 考
2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量 〔(配水池総容量(緊急貯水槽容量は除く)×1/2+緊急貯水槽容量)÷給水人口〕×1,000	リットル/人	173	173	172	171	170	配水池に貯留されている給水人口一人当たりの飲料水量。	
2002	給水人口一人当たり配水量 (1日平均配水量÷給水人口)×1,000	リットル・人/日	255	259	256	256	262	給水人口一人一日当りの水消費量。節水型消費パターンの促進度合いを示す指標。	
2003	浄水予備力確保率 〔(全浄水施設能力-1日最大浄水量)÷全浄水施設能力〕×100	%	-	-	-	-	-	全浄水施設能力に対する予備力の割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
2004	配水池貯留能力 配水池総容量÷1日平均配水量	日	1.36	1.33	1.34	1.33	1.30	一日平均配水量の何日間分が配水池などで貯留可能であるかを表す。	
2005	給水制限数 年間給水制限日数	日	0	0	0	0	0	渇水や水道施設の事故等で給水制限をした日数。給水サービスの安定性を示す。	
2006	普及率 (給水人口÷給水区域内人口)×100	%	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合。	
2007	配水管延長密度 配水管延長÷給水区域面積	km/km ²	5.7	5.7	5.6	5.6	4.2	給水区域面積1km ² 当りの配水管延長。消費者からの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを示す。	
2008	水道メータ密度 水道メータ数÷配水管延長	個/km	58	57	58	57	57	配水管延長1km当りの水道メータ数。配水管路が担う給水件数を示す。	

b) 将来への備え

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
2101	経年化浄水施設率 (法定耐用年数を超えた浄水施設能力/全浄水施設能力) × 100	%	-	-	-	-	-	耐用年数を超えた浄水施設の割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
2102	経年化設備率 (経年化年数を超えている電気・機械設備数/電気・機械設備の総数) × 100	%	95.5	86.4	95.0	90.0	データなし	耐用年数を超えた電気・機械設備の割合。	
2103	経年化管路率 (法定耐用年数を超えた管路延長/管路総延長) × 100	%	7.3	4.4	5.5	0.7	0.2	耐用年数を超えた管路延長の割合。	
2104	管路の更新率 (更新された管路延長/管路総延長) × 100	%	1.38	1.61	1.39	1.86	1.95	年間に更新された配水管の割合。	
2105	管路の更生率 (更生された管路延長/管路総延長) × 100	%	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	年間に管内面のライニング補修をした配水管の割合。	
2106	バルブの更新率 (更新されたバルブ数/バルブ設置数) × 100	%	1.27	2.24	1.88	1.64	2.19	年間に更新されたバルブ数の割合。	
2107	管路の新設率 (新設管路延長/管路総延長) × 100	%	0.00	0.00	0.23	0.00	0.31	年間に新たに布設した配水管の延長割合。	

c) リスクの管理

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
2201	水源の水質事故数 年間水源水質事故件数	件	-	-	-	-	-	年間の水源の有害物質による水質汚染の回数。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
2202	幹線管路の事故割合 (幹線管路の事故件数/幹線管路延長)×100	件/100km	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	年間の幹線管路での事故割合。管路施設の健全性を示す。	
2203	事故時配水量率 (事故時配水量/1日平均配水量)×100	%	37.0	36.3	36.4	68.6	34.1	最大浄水場又は最大ポンプ所が24時間停止した場合に、日平均配水量に対しどの程度配水できるかの割合。	
2204	事故時給水人口率 (事故時給水人口/給水人口)×100	%	89.9	90.0	90.5	35.9	35.3	最大浄水場又は最大ポンプ所が24時間停止した場合に、給水できなくなる人口の割合。	
2205	給水拠点密度 (配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積)×100	箇所/100km ²	8.1	8.1	8.1	8.1	6.0	給水区域100km ² 当りの拠点数。緊急時の利用のしやすさを表す。	
2206	系統間の原水融通率 (原水融通能力/受水側浄水能力)×100	%	-	-	-	-	-	他系統からの融通可能な原水水量の割合。水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を示す。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
2207	浄水施設耐震率 (耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	%	-	-	-	-	-	浄水施設の耐震性を表す。数値は高いほうがよい。	〃
2208	ポンプ所耐震施設率 (耐震対策の施されているポンプ所能力/全ポンプ所能力)×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	ポンプ所の耐震性を表す。数値は高いほうがよい。	
2209	配水池耐震施設率 (耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量)×100	%	87.7	87.7	87.7	87.7	87.7	配水池の耐震性を表す。数値は高いほうがよい。	
2210	管路の耐震化率 (耐震管延長/管路総延長)×100	%	24.1	22.7	20.6	19.1	16.8	管路の耐震性を表す。数値は高いほうがよい。	
2211	薬品備蓄日数 平均薬品貯蔵量/1日平均使用量	日	-	-	-	-	-	浄水処理用薬品の備蓄割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
2212	燃料備蓄日数 平均燃料貯蔵量/1日使用量	日	-	-	-	-	-	浄水場における自家発電設備を稼働するための燃料の備蓄割合。	〃
2213	給水車保有度 (給水車数/給水人口)×100	台/1,000人	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	給水人口1,000人当りの給水車台数。	
2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度 (可搬ポリタンク・ポリパック数/給水人口)×1,000	個/1,000人	146.4	164.5	164.9	165.7	177.3	給水人口1,000人当りの給水用ポリタンク等の数。	
2215	車載用の給水タンク保有度 (車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1,000	m ³ /1,000人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	給水人口1,000人当りの車載用給水タンク保有度。	
2216	自家発電設備容量率 (自家発電設備容量/当該設備の電力総容量)×100	%	68.2	68.2	69.6	69.6	75.6	水道施設における電気設備の電力総容量に対する自家発電設備容量の割合。非常時の危機対応性を示す。	
2217	警報付施設率 (警報付施設数/全施設数)×100	%	76.9	76.9	76.9	76.9	81.8	遠隔で施設の異常を検知できる警報設備がある水道施設の割合。	
2218	給水装置の凍結発生率 (給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	0.1	0.1	0.5	0.4	0.2	年間の給水栓1,000件当りに凍結破裂した給水装置の数。	

3. 持続:いつまでも安心できる水を安定して供給

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
3001	営業収支比率 (営業収益/営業費用)×100	%	110.5	109.4	111.0	109.1	113.5	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。この比率が高いほど営業利益率が高い。	
3002	経常収支比率 [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	%	120.3	106.9	108.4	106.3	110.1	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す。この比率が高いほど経常利益率が高い。	
3003	総収支比率 (総収益/総費用)×100	%	101.8	106.5	107.9	105.9	109.8	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が100%未満の場合は健全な経営といえない。	
3004	累積欠損金比率 [累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	%	0	0	0	0	0	営業収益に対する累積欠損金(多年度にわたって累積した欠損金)の割合。累積欠損金が発生すると健全な経営ではない。	
3005	繰入金比率(収益的収支分) (損益勘定繰入金/収益的収入)×100	%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	収益的収入に対する繰入金の依存度を表す。経営状況の健全性、効率性を示し、数値は低いほうがよい。	
3006	繰入金比率(資本的収入分) (資本勘定繰入金/資本的収入)×100	%	100.0	14.7	7.2	13.3	19.3	資本的収入に対する繰入金の依存度を表す。経営状況の健全性、効率性を示し、数値は低いほうがよい。	平成26年度より加入金が資本的収入から収益的収入に移行したため
3007	職員一人当たり給水収益 (給水収益/損益勘定所属職員数)/1,000	千円/人	71,762	71,671	67,651	63,839	65,527	損益勘定所属職員一人当たりの生産性について給水収益を基準として把握するための指標。	
3008	給水収益に対する職員給与費の割合 (職員給与費/給水収益)×100	%	10.2	10.3	11.9	13.1	12.8	給水収益に対する職員給与費の割合。	
3009	給水収益に対する企業債利息の割合 (企業債利息/給水収益)×100	%	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	給水収益に対する企業債利息の割合を表す。事業の収益性を分析するための指標。	
3010	給水収益に対する減価償却費の割合 (減価償却費/給水収益)×100	%	31.7	29.2	28.2	28.0	25.5	給水収益に対する減価償却費の割合を表す。事業の収益性を分析するための指標。	
3011	給水収益に対する企業債償還金の割合 (企業債償還金/給水収益)×100	%	5.8	5.5	5.4	4.8	4.0	給水収益に対する企業債償還金の割合を表す。企業債償還元金が経営に与える影響を分析するための指標。	
3012	給水収益に対する企業債残高の割合 (企業債残高/給水収益)×100	%	104.7	110.6	115.4	120.4	122.0	給水収益に対する企業債残高の割合を表す。企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。	
3013	料金回収率 (供給単価/給水原価)×100	%	100.4	99.9	102.6	100.3	104.5	給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合。経営状況の健全性を示す指標。	
3014	供給単価 給水収益/有収水量	円/㎡	215.5	214.2	213.6	212.3	212.8	年間の有収水量1㎡当りに得ている収益をいう。	
3015	給水原価 [経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	円/㎡	214.7	214.4	208.2	211.6	203.6	年間の有収水量1㎡当りの生産に発生する費用をいう。	
3016	1ヶ月当たり家庭用料金(10㎡) 1ヶ月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10㎡使用時の重量料金	円	2,430	2,362	2,362	2,362	2,362	標準的な家庭における水使用量に対する料金。消費者の経済的利便性を示す。	消費税込み
3017	1ヶ月当たり家庭用料金(20㎡) 1ヶ月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20㎡使用時の重量料金	円	4,082	3,969	3,969	3,969	3,969	標準的な家庭における水使用量に対する料金。消費者の経済的利便性を示す。	消費税込み

3018	有収率 (有収水量/給水量)×100	%	91.5	90.3	91.5	91.7	91.9	年間の配水量に対する有収水量の割合。施設の稼働状況を確認する指標。
3019	施設利用率 (1日平均給水量/1日給水能力)×100	%	62.3	63.5	63.2	63.5	65.1	一日当りの給水能力に対する一日平均給水量の割合を示す。水道施設の経済性を総合的に判断する指標。数値は高いほうがよい。
3020	施設最大稼働率 (1日最大給水量/1日給水能力)×100	%	73.8	74.3	76.1	76.1	77.5	一日給水能力に対する一日最大給水量の割合。施設効率を判断する指標。
3021	負荷率 (1日平均給水量/1日最大給水量)×100	%	84.5	85.5	83.1	83.4	84.0	一日最大給水量に対する一日平均給水量の割合。施設効率を判断する指標。数値は高いほうがよい。
3022	流動比率 (流動資産/流動負債)×100	%	804.0	1279.1	1080.0	1459.1	1140.9	流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表す。
3023	自己資本構成比率 新[(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)/負債・資本合計]×100 旧[(自己資本金+剰余金)/負債・資本合計]×100 ※会計基準の見直しにより平成26年度より算出式を変更	%	84.3	85.3	84.1	83.8	83.1	総資本に対する自己資本の割合。財務の健全性を示す指標。数値が高いほうがよい。
3024	固定比率 新[固定資産/(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)]×100 旧[固定資産/(自己資本金+剰余金)]×100 ※会計基準の見直しにより平成26年度より算出式を変更	%	97.3	98.2	99.3	100.2	101.6	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標。
3025	企業債償還元金対減価償却費比率 (企業債償還元金/当年度減価償却費)×100	%	18.4	19.0	19.0	17.1	15.7	投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。100%以下が望ましい。
3026	固定資産回転率 (営業収益-受託工事収益)/[(期首固定資産+期末固定資産)/2]	回	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	固定資産に対する営業収益の割合。期間中に固定資産の何倍の営業収益があったかを示す。
3027	固定資産使用効率 (給水量/有形固定資産)×10000	m ³ /10,000円	6.6	6.3	6.3	6.4	6.5	有形固定資産に対する年間総給水量の割合。数値は高いほうがよい。

b) 水道文化・技術の継承と発展

番号	指 標 名	単 位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指 標 の 解 説	備 考
3101	職員資格取得度 職員が取得している法定資格数/全職員数	件/人	0.38	0.43	0.43	0.45	0.36	職員が取得している法定資格数。	
3102	民間資格取得度 職員が取得している民間資格取得数/全職員数	件/人	0.048	0.095	0.143	0.091	0.091	施設管理技士等の民間資格取得者数。	
3103	外部研修時間 (職員が外部研修を受けた時間・人数)/全職員数	時間	9.3	13.4	10.4	5.8	10.0	職員の資質向上のための取組状況を示す。	
3104	内部研修時間 (職員が内部研修を受けた時間・人数)/全職員数	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	職員の資質向上のための取組状況を示す。	
3105	技術職員率 (技術職員総数/全職員数)×100	%	57.1	61.9	61.9	59.1	63.6	水道技術職員の割合。	
3106	水道業務経験年数度 全職員の水道業務経験年数/全職員数	年/人	5.6	5.3	5.7	5.4	4.5	職員の水道業務経験年数。	
3107	技術開発職員率 (技術開発業務従事職員数/全職員数)×100	%	0	0	0	0	0	水道の技術開発職員数。	
3108	技術開発費率 (技術開発費/給水収益)×100	%	0	0	0	0	0	水道技術開発に対する投資の度合いを示す。	
3109	職員1人当たり配水量 年間配水量/全職員数	m ³ /人	260,054	264,780	263,715	253,335	259,086	職員一人当たりの年間配水量。水道サービスの効率性を示す。	
3110	職員1人当たりメータ数 水道メータ数/全職員数	個/人	1149	1144	1136	1079	1070	職員一人当たりの水道メータ数。水道サービスの効率性を示す。	
3111	公傷率 {(公傷で休務した延べ人数・日数)/(全職員数×年間公務日数)}×100	%	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	水道事業の安全衛生管理にかかる指標。	
3112	直接飲用率 (直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)×100	%	データなし	データなし	データなし	データなし	54.5	アンケート調査結果による直接飲用の割合。	

c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
3201	水道事業に係る情報の提供度 広報誌配布部数/給水件数	部/件	0.1	1.1	2.2	3.8	3.3	広報配布等による水道事業の情報提供度。	
3202	モニタ割合 (モニタ人数/給水人口) × 1,000	人/1,000人	0	0	0	0	0	消費者とのコミュニケーションを推進している度合いを示す。	
3203	アンケート情報収集割合 (アンケート回答人数/給水人口) × 1,000	人/1,000人	0.00	0.00	0.00	0.00	13.50	消費者のニーズの収集実行度を示す。	
3204	水道施設見学者割合 (見学者数/給水人口) × 1,000	人/1,000人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	消費者とのコミュニケーションを推進している度合いを示す。	
3205	水道サービスに対する苦情割合 (水道サービス苦情件数/給水件数) × 1,000	件/1,000件	0.00	0.00	0.23	0.45	0.64	消費者の満足度を示す。	
3206	水質に対する苦情件数 (水質苦情件数/給水件数) × 1,000	件/1,000件	0.04	0.23	0.36	0.64	0.68	消費者の水質への満足度を示す。	
3207	水道料金に対する苦情割合 (水道料金苦情件数/給水件数) × 1,000	件/1,000件	0.450	0.316	0.769	0.954	1.228	消費者の水道料金への満足度を示す。	
3208	監査請求数 年間監査請求数	件	0	0	0	0	0	法令に基づき水道事業に監査請求された件数。	
3209	情報開示請求数 年間情報開示請求件数	件	0	0	0	0	0	法令に基づき水道事業に情報開示請求された件数。	
3210	職員一人当たり受付件数 受付件数/全職員数	件/人	261	251	246	236	259	職員一人当たりの年間受付件数。	

4. 環境:環境保全への貢献

a) 地域温暖化防止等

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量 全施設の電力消費量/年間配水量	kWh/m ³	0.13	0.13	0.13	0.13	0.16	水道水1m ³ を家庭に届けるまでに必要な電力消費量。	
4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー 全施設での総エネルギー消費量/年間配水量	MJ/m ³	0.48	0.47	0.48	0.48	0.57	水道水1m ³ を家庭に届けるまでに必要な消費エネルギー量。	
4003	再生可能エネルギー利用率 (再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量) × 100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	水道事業体が所有する再生可能エネルギーの利用割合。	
4004	浄水発生土有効利用率 (有効利用土量/浄水発生土量) × 100	%	-	-	-	-	-	浄水処理過程における発生土の有効利用度を示す。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
4005	建設副産物のリサイクル率 (リサイクルされた建設副産物量/建設副産物排出量) × 100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	工事等で発生する建設副産物の有効利用度を示す。	
4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素排出量 (総二酸化炭素排出量/年間配水量) × 1,000,000	g・CO ₂ /m ³	90	89	90	64	68	水道水1m ³ を家庭に届けるまでに排出する二酸化炭素量。	

b) 健全な水循環

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
4101	地下水率 (地下水揚水量/水源利用水量) × 100	%	-	-	-	-	-	地下水を水源としている割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため

5. 管理:水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a) 適正な実行・業務運営

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
5001	給水圧不適正率 〔適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 / (圧力測定箇所総数 × 年間日数)〕 × 100	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	給水圧が適正な範囲になかったものの割合。	
5002	配水池清掃実施率 〔最近5年間に清掃した配水池容量 / (配水池総容量 / 5)〕 × 100	%	400	400	400	400	391	配水値の管理状況を表す。	
5003	年間ポンプ平均稼働率 〔ポンプ運転時間の合計 / (ポンプ総台数 × 年間日数 × 24)〕 × 100	%	24.0	26.4	30.4	30.7	30.8	年間にポンプがどの程度稼働しているのかを示す。ポンプ施設の余裕度を測定する指標。	
5004	検針誤り割合 (誤検針件数 / 検針総件数) × 1,000	件 / 1,000件	0.08	0.11	0.14	0.12	0.03	検針総件数に対する水道メータ指針の読み間違い等誤検針の1,000件当りの割合。	
5005	料金請求誤り割合 (誤料金請求件数 / 料金請求総件数) × 100	件 / 1,000件	0.02	0.02	0.05	0.06	0.01	料金請求総件数に対する請求額間違い等の割合。	
5006	料金未納率 (年度末未納料金総額 / 総料金収入額) × 100	%	7.6	7.6	7.5	8.1	8.3	年度末における総料金収入額における未納金の割合。	
5007	給水停止割合 (給水停止割合 / 給水件数) × 1,000	件 / 1,000件	1.5	1.6	1.7	2.0	1.8	給水件数1,000件に対する給水停止の割合。	
5008	検針委託率 (委託した水道メータ数 / 水道メータ数) × 100	%	99.5	99.2	99.6	99.2	98.6	水道メータ数に対する業者に検針委託した水道メータの割合。	
5009	浄水場第三者委託率 (第三者委託した浄水場能力 / 全浄水場能力) × 100	%	-	-	-	-	-	全浄水場に対して法に基づく第三者委託をしている浄水場の割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため

b) 適正な維持管理

番号	指標名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指標の解説	備考
5101	浄水場事故割合 10年間の浄水場停止事故件数/浄水場総数	10年間の件数 /箇所	-	-	-	-	-	10年間で浄水場で発生した事故による送水停止等の割合。	石狩東部広域水道企業団から全面受水のため
5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率 [(ダクタイル鋳鉄管延長+鋼管延長)/管路総延長]×100	%	32.4	32.6	33.0	33.0	33.3	管路総延長に対する鋼管類の割合。管路の母材の強度に視点を当てた指標。この数値は高いほうがよい。	
5103	管路の事故割合 (管路の事故件数/管路総延長)×100	件/100km	0.9	1.4	2.1	2.3	1.6	年間の管路の事故件数を延長100km当りの件数に換算したもの。管路の健全性を示す。	
5104	鉄製管路の事故割合 (鉄製管路の事故件数/鉄製管路総延長)×100	件/100km	0.0	0.7	1.4	0.0	0.0	年間の鉄製管路の事故件数を延長100km当りの件数に換算したもの。管路の健全性を示す。	
5105	非鉄製管路の事故割合 (非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路総延長)×100	件/100km	1.3	1.6	2.3	4.5	2.4	年間の非鉄製管路の事故件数を延長100km当りの件数に換算したもの。管路の健全性を示す。	
5106	給水管の事故割合 (給水管の事故件数/給水管件数)×1,000	件/1,000件	0.2	0.4	0.5	0.5	2.1	年間の給水管件数1,000件に対する給水管の事故割合。	
5107	漏水率 (年間漏水量/年間配水量)×100	%	6.4	7.9	7.4	6.2	7.0	年間の配水量に対する漏水量の割合。	
5108	給水管件数当たり漏水量 年間漏水量/給水管件数	m ³ /年/件	15.8	19.9	18.6	15.8	18.1	年間の給水管件数一件当りの漏水量。	
5109	断水・濁水時間 (断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/給水人口	時間	0.04	0.03	0.14	0.34	0.06	給水人口一人当りに配水管等の事故により濁水・断水により給水できなかった時間。	
5110	設備点検実施率 (電気・計装・機械設備等の点検回数/電気・計装・機械設備の法定点検回数)×100	%	140	139	142	139	142	水道施設の電気・計装・機械設備の点検がどの程度実施されたかを表す。管理の適正度を示す。	
5111	管路点検率 (点検した管路延長/管路総延長)×100	%	0	0	0	0	1	管路に対する年間の点検率。管路の健全性確保に対する執行度合いを示す。	
5112	バルブ設置密度 バルブ設置数/管路総延長	基/km	15.7	15.7	15.7	16.7	15.0	管路に対してバルブが設置されている割合。配水操作の柔軟性や管路の維持管理の容易性を示す。	
5113	消火栓点検率 (点検した消火栓数/消火栓数)×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	消火栓に対する年間の点検率。消防水利機能の健全性確保に対する執行度合いを示す。	
5114	消火栓設置密度 消火栓数/配水管延長	基/km	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	配水管に対する消火栓の設置密度。危機対応能力の度合いを示す。	
5115	貯水槽水道指導率 (貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数)×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	貯水槽水道に対して行われている調査・指導の割合。	

6. 国際:我が国の経験の海外移転による国際貢献

a) 技術の移転

番号	指 標 名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指 標 の 解 説	備 考
6001	国際技術等協力度 国際技術等協力度=人的技術等協力者数×滞在週数	人・週	0	0	0	0	0	国債技術協力等のための滞在週数。	

b) 国際機関、諸国との交流

番号	指 標 名	単位	H26数値	H25数値	H24数値	H23数値	H22数値	指 標 の 解 説	備 考
6101	国際交流数 国際交流数=年間人的交流件数	件	0	0	0	0	0	情報交換、会議、会合等の国際交流件数。	